

神代病院 は、2023年4月より

# 回復期リハビリテーション病棟

を 58床 に増床、受入体制を強化します！

## ? 回復期リハビリテーション病棟とは・・・

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの急性期治療後、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

チームの各担当スタッフが、入院直後から寝たきりにならないよう起きる、食べる、歩く、トイレへ行く、お風呂に入るなどの日常生活への積極的な働きかけで改善を図り、家庭・社会復帰を支援します。

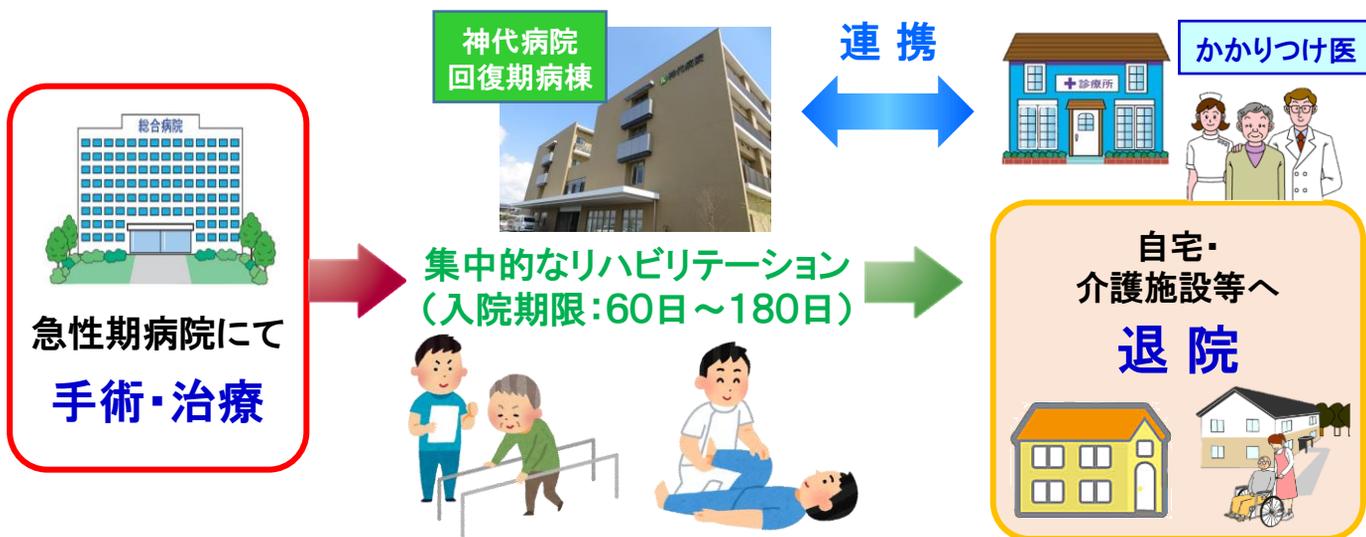
治療・ケア  
栄養管理



看護ケア  
薬物療法

在宅復帰  
に向けた  
リハビリ

退院支援  
医療相談



## ●●● 回復期リハビリテーションの対象疾患・状態 ●●●

- 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後・手術後【150日】
- 高次脳機能障害(重症脳血管障害)、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷【180日】
- 大腿骨・骨盤・脊椎・股関節・膝関節の骨折、二肢以上の多発骨折の発症・手術後【90日】
- 大腿骨・骨盤・脊椎・股関節・膝関節の神経・筋又は靭帯損傷後【60日】
- 股関節又は膝関節の置換術後【60日】
- 外科手術・肺炎等治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後・発症後の状態【90日】

入院のお問合せ・  
お申し込みは・・・ **地域連携室** (担当：三橋・中村)

みはし  
☎ **0942-23-1215**  
(直通)

回復期リハビリテーション病棟入院料〔1〕に係る揭示事項

	R7年7月	R7年10月	R8年1月
直近3か月間の退棟患者数	73名	83名	72名

退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳		48名	50名	55名
患者構成	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後	5名	9名	11名
	高次脳機能障害の患者	4名	1名	2名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等2か月以内	36名	26名	33名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2か月以内	2名	11名	8名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後1か月以内	1名	1名	1名
	股関節又は膝関節の置換術後1か月以内	1名	2名	1名
	上記に準ずるもの	1名	1名	1名

算定期間：令和7年10月～令和7年12月（3か月実績）  
3か月ごとに更新

直近のリハビリテーション実績指数（6か月実績）

前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	173名
上記のうち、実績指数の計算対象とした患者数	105名
上記の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和①	2,853点
上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和②	62.38
実績指数（①／②） 基準値：40	45.73
直近に報告した実績指数	47.63

算出期間：令和7年7月～令和7年12月（6か月実績）  
3か月ごとに更新